

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-2-1	分類	共通	担当課	業務課、輸送課、安全推進課、施設課	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R3
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献		個別取組	バリアフリーの推進					
目的	施設や車両のバリアフリー化を推進するとともに、バリアフリーに関する職員教育を継続的に実施することで、誰もが安全で安心な市バス及び地下鉄をご利用いただけるようにする。								
内容	仙台市交通局バリアフリー特定事業計画(※1)に基づき、高齢者団体、障害者団体との意見交換を継続的に行いながら、市バス及び地下鉄の施設・設備、車両等のハード面及びバリアフリーに関する職員教育、啓発活動等のソフト面の両面についてバリアフリー化を推進する。								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	バス停上屋やベンチ・電照式標識の設置								
	職員のバリアフリー教育の実施等								
	意見交換とアンケートを隔年で実施								
	バリアフリー施設整備(第3期前期計画)								
実績	バス停上屋やベンチ・電照式標識の設置								
	職員のバリアフリー教育の実施								
	アンケートを実施								
	バリアフリー施設整備(第3期前期計画)								

【年度計画】

目標と実施方法	<ul style="list-style-type: none"> バス停上屋等の増設を着実に実施しバリアフリーを推進する。 バス運転者採用時教習やその他職員研修時に、バリアフリー化に対する職員教育を実施する。 職員の接遇や乗客のマナー等に関するアンケートを実施し、今後の事業に活かす。 隙間調整材設置の当年度実施予定工事について、工事受注者と綿密に協議して工事を進め施工可能な量や、施工上の課題が無いかを見極め、次年度以降の発注計画に反映させる。 	数値目標	<ul style="list-style-type: none"> 上屋8か所設置(内、広告5か所) 電照バス停5か所設置 ベンチ3か所設置
---------	---	------	--

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	<ul style="list-style-type: none"> 広告付き上屋の設置が順調に進み、目標数を超える数の上屋を設置できた。 バス運転者採用時教習や接客接遇研修時に、バリアフリー化に対する職員教育を実施した。 高齢者団体、障害者団体へバリアフリーアンケートを実施し、令和4年2月に取り纏め、安全マネジメント会議に報告した。 	数値目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 上屋15か所設置(内、広告14か所) 電照バス停5か所設置 ベンチ3か所設置
課題と改善策					

【備考】

※1 仙台市交通局バリアフリー特定事業計画についてはこちら。
[仙台市交通局ウェブサイト「安全・安心への取組み 交通バリアフリーへの取組み」](#)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-2-2	分類	共通	担当課	経営企画課	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R3
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献			個別取組	福祉施策への貢献				
目的	高齢者や障害のある方等の負担を軽減する運賃制度等の整備に取り組むことで、移動・外出支援に貢献する。								
内容	敬老乗車証(※1)、ふれあい乗車証(※2)や福祉割引(※3)用icscaの継続運用や福祉割引の見直しを行う等、高齢者や障害のある方の公共交通利用促進施策を検討、実施する。								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定									
実績									

【年度計画】

目標と実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方に対する割引を拡充する。 スマートフォンで障害者手帳の情報を提示できるアプリ「Myrioid」の取扱いを開始する。 	数値目標	
---------	---	------	--

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	<ul style="list-style-type: none"> R3年4月に精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方に対する割引を拡充。 Myrioidの取扱いを開始(R3年4月～身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳/R4年2月～療育手帳)。 	数値目標の達成状況	
課題と改善策	引き続き高齢者や障害のある方の公共交通利用促進策を検討する。				

【備考】

<p>※1 「敬老乗車証」とは、70歳以上でご希望の方にお渡ししている、仙台市内の市バス・地下鉄・宮城交通バスで利用できるカードのことで。詳しくは、下記リンクよりご確認ください。 仙台市ウェブサイト「敬老乗車証」(外部サイトを表示します)</p> <p>※2 「ふれあい乗車証」とは、各種障害者手帳をお持ちで、障害の等級・程度の要件に該当する方が、仙台市内の市バス・地下鉄・宮城交通バスで利用できる乗車証のことで。詳しくは、下記リンクよりご確認ください。 仙台市ウェブサイト「ふれあい乗車証(バス・地下鉄の無料乗車証)の交付」(外部サイトを表示します)</p> <p>※3 「福祉割引」とは、障害者手帳等をお持ちの方の割引制度です。詳しくは、下記リンクよりご確認ください。 仙台市交通局ウェブサイト「小児運賃・福祉割引について」</p>

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-2-3(バス)	分類	共通	担当課	経営企画課、業務課、輸送課	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R3
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献			個別取組	観光施策への貢献				
目的	来訪者向けの公共交通施策を実施することで、来訪者の移動の利便性を確保する。								
内容	外国人のお客さまに必要な情報を伝えられるように、音声翻訳機による案内サービスの提供や研修等を実施する。 来訪者にとって利便性の高い乗車券(「仙台まるごとバス(※1)」、「SENDAI AREA PASS(※2)」等)を提供する。 各種イベント実施に合わせたバスの運行を行う。								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定									
実績									

【年度計画】

目標と実施方法	<p>【英語対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> オープンデータ基準にあわせたバス停名へ表記を変更する。 ご利用案内HP(英語版)にリンクする二次元コードをバス停に掲示する。 仙台駅西口バスターミナル案内所に音声翻訳機を配備する。 どこバス仙台の英語対応について、実施可能な手段の調査を行う。 <p>【仙台まるごとバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仙台まるごとバス運営協議会において、PR手法の最適化等を提案する。 <p>【イベント時の運行】</p> <ul style="list-style-type: none"> るーぷる仙台「光のページェント号」実施に向けて仙台市観光課と協議する。 	数値目標	バス停名の英語表記の変更を実施する。 (広告付き42か所、電照式80か所)
---------	--	------	--

【年度評価】

評価	○	進捗状況・評価の説明	<ul style="list-style-type: none"> 広告付きバス停の英語表記対応の目標値施工が完了した。 しかし、電照式バス停の英語表記対応は65か所の施工に留まり目標値に未達であり、次年度も継続して実施していく。 どこバス仙台の英語対応は次年度事業で実施すること調整が完了した。 仙台まるごとバスの広報活動は、新型コロナウイルス感染症の対策として自粛したが、次年度に向けて、MaaSでのデジタルチケット販売の準備を進めている。 	数値目標の達成状況	<p>【バス停名英語対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広告付きバス停 42か所 電照式バス停 65か所
課題と改善策	電照式バス停の英語表記対応は目標数に達成できるように定期的な進捗確認を実施する。 仙台まるごとバスの仙台MaaS搭載の早期実施が課題であり、協議会での検討に協力する。				

【備考】

<p>※1 「仙台まるごとバス」とは、仙台・松島・松島海岸・山寺・白石駅区間のJR、仙台空港鉄道、るーぷる仙台、仙台市バス、仙台市地下鉄の全線、宮城交通の仙台～秋保大滝路線、阿武隈急行の槻木～あぶくま駅区間が2日間乗り放題のフリー切符です。 仙台圏交通事業者等で構成される仙台まるごとバス運営協議会によって運営されています。 【仙台まるごとバス】(外部サイトを表示します)</p> <p>※2 「SENDAI AREA PASS」とは、仙台エリアを訪れる訪日外国人旅行者向けのフリー切符です。 仙台まるごとバスと同じエリアが一日乗り放題となります。 【SENDAI AREA PASS】(外部サイトを表示します)</p>
--

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-2-3(地下鉄)	分類	共通	担当課	営業課、駅務サービス課	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R3
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献			個別取組	観光施策への貢献				
目的	来訪者向けの公共交通施策を実施することで、来訪者の移動の利便性を確保する。								
内容	外国人のお客さまに必要な情報を伝えられるように、音声翻訳機による案内サービスの提供や研修等を実施する。 来訪者にとって利便性の高い乗車券(「仙台まるごとパス(※1)」、「SENDAI AREA PASS(※2)」等)を提供する。 各種イベント実施に合わせた地下鉄の運行を行う。								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	各種研修の実施 								
実績	各種研修を実施 								

【年度計画】

目標と実施方法	外国人のお客さまに対し分かりやすい言葉の使い方を習得するため、やさしい日本語(※3)研修や外国語向上研修を継続的に実施する。	数値目標	駅務員全員が年1回やさしい日本語研修や外国語向上研修を実施する。
---------	--	------	----------------------------------

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	下半期に実施する予定であった「やさしい日本語研修」をオリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、上半期に実施したことで外国人旅行者を想定したおもてなしの準備をすることができた。 ・研修においては、日常使われているやさしい日本語の文章や話し方を学び、「ゆっくりと単語を区切って話す」ことを全員が理解した。	数値目標の達成状況	駅務員全員に対して訓練を実施し、数値目標は達成できた。
課題と改善策	・今後インバウンド需要が高まった場合に備え、令和4年度も「やさしい日本語研修」を実施する予定。				

【備考】

<p>※1 「仙台まるごとパス」とは、仙台・松島・松島海岸・山寺・白石駅区間のJR、仙台空港鉄道、るーぷる仙台、仙台市バス、仙台市地下鉄の全線、宮城交通の仙台～秋保大滝路線、阿武隈急行の槻木～あぶくま駅区間が2日間乗り放題のフリー切符です。 仙台圏交通事業者等で構成される仙台まるごとパス運営協議会によって運営されています。 [仙台まるごとパス](外部サイトを表示します)</p> <p>※2 「SENDAI AREA PASS」とは、仙台エリアを訪れる訪日外国人旅行者向けのフリー切符です。 仙台まるごとパスと同じエリアが一日乗り放題となります。 [SENDAI AREA PASS](外部サイトを表示します)</p> <p>※3 「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも、簡単で外国人にもわかりやすい日本語のことです。□ ゆっくり、はっきりと話し、難しい言葉は、簡単な言葉や表現に言い換えます。また、一文を短くし、です・ます調で話します。</p>
--

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-2-4	分類	共通	担当課	経営企画課、業務課、営業課	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R3
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献		個別取組	MaaSの推進					
目的	MaaS(※1)上でお客さまの多様なニーズに応えられる券種を提供することで、交通利便性とまちの魅力の向上に貢献する。								
内容	TOHOKU MaaS(※2)や仙台MaaS(※3)について、関係機関と連携しながら推進する。								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定									
実績									

【年度計画】

目標と実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・TOHOKU MaaSIに参画する。 ・仙台MaaS運営委員会に引き続き参画するとともに、「仙台まるごとパス」等既存券や新券種の搭載を検討・実施する。 	数値目標	既存券のうち、るーぷる一日乗車券について、通常の販売とMaaSでの販売を合わせてR2年度以上の枚数を販売する。
---------	---	------	---

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・TOHOKU MaaSIに参画し、令和3年9月まで「仙台まるごとパス」、「るーぷる仙台一日乗車券」、「るーぷる仙台・地下鉄共通一日乗車券」を販売した。また、令和4年6月以降、仙台まるごとパスの再参画を進めることとなった。 ・仙台MaaSにおいて、新券種として「120円パッ区」区域が乗り放題となる「120円パッ区一日乗車券」を搭載したほか、既存券種である「るーぷる仙台一日乗車券」、「るーぷる仙台・地下鉄共通一日乗車券」も搭載した。 	数値目標の達成状況	るーぷる仙台一日乗車券の販売枚数がR2年度に比べて約12.9%増加した(共通券およびMaaS販売分を含む)。 R2…35,926枚 R3…40,553枚
課題と改善策	仙台MaaS、TOHOKU MaaSでの販売増に向けて、各事務局とも連携し広報を強化していく。				

【備考】

※1「MaaS」とは、スマートフォン等で目的地までのルートや移動手段、さらには街なかの飲食店・イベント等の検索・予約・決済に至るまでを一括して行える仕組みです。 ※2「TOHOKU MaaS」とは、東日本旅客鉄道株式会社が東北デスティネーションキャンペーンに合わせて令和3年4月1日から令和3年9月末まで実施しているMaaSです。 ※3「仙台MaaS」とは、仙台市が令和3年10月より実施しているMaaSです。詳しくは、下記リンクよりご確認ください。 [仙台MaaS](外部サイトを表示します) 仙台市ウェブサイト[仙台MaaS推進](外部サイトを表示します)
--

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-2-5	分類	共通	担当課	経営企画課、輸送課、整備課、電気課、富沢管理事務所	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R3
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献		個別取組	ICTや新技術の活用の検討					
目的	ICTや新技術の活用を検討することで、多様なお客さまが快適にご利用いただける環境を整備するとともに、省力化・コスト縮減につなげる。								
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ICカード乗車券やデジタルチケットなど、各種キャッシュレス決済に係る技術動向について、最新情報を収集し、導入した際の安全性や利便性向上について検討を行うとともに、費用対効果についても検討を行う。 ・「自動運転技術」について、本市は平成27年に国家戦略特区に指定されるとともに、『近未来技術実証特区』として位置づけられていることから、関連する情報等の収集に努める。 ・スマートバス停の導入について検討を行う。 ・南北線において、外気温度で伸縮するレールの状態を確認するため、インターネットを活用したリアルタイム遠隔監視タイプのレール温度計(※1)を設置する。 								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定									
実績									

【年度計画】

目標と実施方法	<p>【IC乗車券システム】 他事業者や各メーカーより新技術情報を収集する。</p> <p>【自動運転技術】 国土交通省の動向や車輪メーカーとの情報交換等により情報収集を行う。</p> <p>【スマートバス停】 スマートバス停の導入を検討し、導入した場合の経費節減効果について調査を行う。</p> <p>【遠隔監視レール温度計】 南北線にレール温度計を設置し、適切かつ効率的なレール温度管理を実施する。</p>	数値目標	<p>【スマートバス停】 先行事業者及びメーカーの聞き取り調査を2社以上実施する。</p> <p>【遠隔監視レール温度計】 2か所設置する。</p>
---------	---	------	--

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	<p>【スマートバス停】 導入検討のため、メーカーと定期的に打合せを実施した。デモ機を借用したがバックライト機能が無いため、バス停での実証実験は断念した。</p> <p>【自動運転技術】 気仙沼線BRT自動運転バス試乗会に参加するなど、情報収集を実施した。</p> <p>【遠隔監視レール温度計】 計画通り6月からレール温度の遠隔監視を開始した。</p>	数値目標の達成状況	<p>【スマートバス停】 先行事業者(2事業者)及びメーカー(3社)から聞き取り調査を実施した。</p> <p>【遠隔監視レール温度計】 計画通り2か所設置した。</p>
課題と改善策					

【備考】

※1「リアルタイム遠隔監視タイプのレール温度計」については、国家戦略特区の特区制度の取り組みとして、令和2年度に実証実験を実施しています。詳しくは、下記のリンクより実証実験の概要を紹介する情報紙「仙台特区 Vol.9」をご確認ください。
[仙台市ウェブサイト「仙台特区 Vol.9発行」\(外部サイトを表示します\)](#)